



トヨタネ株式会社 本社：豊橋市向草間町字北新切12-1／〒441-8517／TEL0532-45-4137(代)／FAX0532-45-4494

社内報：第46号・発行所：総務部：編集・構成：朝倉芳則

URL <https://www.toyotane.co.jp> Email : info@toyotane.co.jp

撮影場所：東京

誰も予想しなかった今年の夏！

今年も夏がやってきた。とは言うものも1年前に想像していた夏とは全く違う。

「東京オリンピック2020」で日本中お祭り騒ぎの予定でしたが、今はや忘却の彼方、過去の記憶のようです。

来年開催についても大半の日本人があきらめムード。

新型コロナウイルス第2波がこの夏に再来するかどうかが最大の関心事、国はほぼ鎖国状態で関東地方中心にまだ移動もままならない実状です。

おまけにかつてないほど梅雨前線の停滞で来る日も来る日も雨、九州地方を始めとして多くの死者を出すほどの歴史的大災害になります。穀倉地帯は最も重要な生育期ですから、直接的な被害と日照り不足で作況もかなり下振れする可能性が出てきましたと思います。

新型コロナウイルス禍と梅雨豪雨のダブルパンチです。

それでも会社にとってはこの7月～8月は最繁忙期となります。露地野菜の種蒔き・育苗時期です。

トマトに代表される施設野菜もこの時期が定植時期ですが、多くの生産者は苗を購入します。

弊社も自社苗生産に力を入れているのですが、この曇天続き高温多湿条件下でお客さまに納得していただける苗を供給するのは大変です。

枯れそうだからと水をやれば、徒長苗となりますし、予期に反して急激に晴れるのも大変危険です。

植物が変化に対応できず、一気にしおれてしまうこともあるからです。

またこの高温時期にコロナ予防でマスクをしながらハウス内で仕事をする職員も大変な思いをしています。

暑くなればコロナよりも熱中症のほうが遥かに危険だろうと思います。

何れにせよ太平洋側の園芸農家にとって、7～8月は冬の収穫に向けての最重要なスタート時期とな

ります。弊社もその分野でお役に立つことが根幹の会社ですので、とにかくこの時期は槍が降ろうとも前に進むしかありません。正月を中心とする冬場に野菜や果物がスーパーから消えたなどという事は許されません。

国民そして消費者は新型コロナ禍以上のパニックです。今回の新型コロナウイルス禍ではっきりしたことは、食

料は生命の根幹、新鮮でフレッシュな野菜や果物を食べられることがいかに幸せかということを実感したことでしょう。

まもなく終わるだろう長い梅雨がすぎると夏の太陽と連日30度以上の極暑が待っています。それは弊社が頑張る時でもあります。

川西裕康



新型コロナウイルス対策補助金について

6月末から営業部の主な業務として新型コロナウイルス対策の各種補助金・交付金などに、お客様が申請するためのお手伝いをしています。



今回園芸作物を栽培するお客様に関する主な内容としては持続化給付金・高収益作物次期作支援金・経営継続補助金の3つがあります。

中でも経営継続補助金は新規取組みによつてコロナ感染防止に繋げる必要があります。

営業部内から集めた提案を、お客様にできる限り伝えられるように活動をしています。

各種提案をしている中で生産者の皆様が興味を持たれる内容としては自動化の内容が多いのです。

コロナ対策として圃場に少しでも行かなくても良いだけではなく、従来から人手不足が進みつつあったため、コロナ対策と合わせて対応したいためと考えられます。

今回の経営継続補助金はJAに提出する場合が大半です

7月25日発行



が、全国的に見ても当地域はJAが積極的に動いてくれているため、JAのメイン事業が金融の地域に比べて申請しやすい状況になっていると感じます。私達もお客様のお役に立てるように、1つでも良い提案ができる情報を発信していきたいと思います。

三浦慎一

公開調査

7月3日（金）研究農場にてスイートコーンの社内関係者による公開調査が行われました。生育が予定より進み早い開催となりました。



6月29日（月）試し取りしたところ、思った以上に生育が進んでたということです。自然を相手の作物、生育に合わせたリアル調査です！雨の中！マスクも忘れずの調査です！

【内容】

品目：スイートコーン（2作目）

日時：2020/7/3（金） 13：30～

場所：研究農場新事務棟前

上の写真は関係者による各社品種の外観などの見た目調査です。

下の写真は試食のテーブル。



各社品種のスイートコーンの試食です。

マスクは取らないと試食は出来ないです！

試食の感想として甘いもの、甘さを控えた品種と様々でした。

この公開調査では試食による投票を行いました。



スイートコーンはイネ科の一年生のものですが竹に近いくらい鋭利でゴム手袋をしていても関係者が手に怪我をしました。数日後怪我

の跡を見たらなるほど鋭利な刃物のような傷跡でした。

扱いにはそれなりの手袋が必要と思いました。

ちなみに竹はイネ科タケ亜科のようです。

各営業所の種苗担当者から地域の状況報告がありました。管内の情勢、6月期の天候の影響、品種特性など報告がありました。

結果について各地区の種苗スタッフから生のコメントを直接聞くのがベストです。紙ベースの資料では伝わらな

い点が多くあります。

来年作を考えて推奨品種やその地域に合う品種検討を相談されることを今から考えましょう。

7月入社者の紹介

入社者の紹介

名前：Nさん



（読み：～～～・～～～）

B型おとめ座の男子、出身は新城市、現在田原市に在住しているようです。

見た目通りイケメン育メンって感じです。画像加工をしようと思いましたが影りが深すぎて変な感じになるのでやめました。

配属先は7月1日から本社施設部施設設計課です。

以前の会社ではAutoCADを使っていたようですが、この部署では基本JWCADです。機能的には劣りますがフリーソフトで全国ネットで共有ができるのが最大のメリット。

至ってシンプルなCADソフトです。

大学は日体大で体育会系なんですね。しかもM選手と同じバドミントン。

現在お子さんと一緒にバドミンをしているようです。



周に4～5回ほど教えるようですね。いいパパです。

将来のO・SかMを目指している？

目標は高いほうが良いです。

ちなみにお子さんの構成は昔で言う一姫二太郎のようです。

まさに絵に書いた理想的な家族構成ですね。

資格は世間一般に通じるスキルを持っています。

1級管工事施工管理技士、2級建築施工管理技士、2級電気工事施工管理技士などです。これからも社会に通じるスキル、資格取得に努めましょう。

長神渉さんの今後の意気込みについて

農業に関しては未経験ですが少しでも早く役に立てるよう頑張りたいと思います。原文です。

私からのコメント

彼が日体大出身者で卒業後暫く講師をされていたようです。スポーツの基礎ができている事を考えてスポーツ科学、工学を仕事の効率や健康管理に活かせないか。出来れば当社は理系が多い。私は文系。スポーツ科学・工学の考察を通して働き方を見直す取り組むと今までにないものが改善や効率化が図れるのではまずは人のモーション解析。

聞き手 朝倉芳則

7月25日発行

入社後

今月紹介は種苗販売課豊橋営業所担当のTさん（読み：～～～・～～～）です。コロナ禍で例年通りの行事がなくそれを知っている人は不燃焼。例年のことを見た人はかえつてそれが普通と捉えたほうが正しいのかも知れません。ということで意見交換をさせていただきました。雑談になってしましましたが大学院では生命科学などを専攻していく試験や分析、解析などを行っておりました。



ていたようです。現在行っている発芽試験調査とは違いますが考え方、これから得られる事柄を吸収しながらプラスとなると考えます。私自身もかつて行ってきた試験調査も参考となるかどうか分かりませんが話をさせていただきました。新規養土各種肥料の量による生育確認試験、ペントキープ試験など。表現を間違えると薬事法違反となること。試験方法を間違えると意味をなさないことなど過去の注意事項など話をしてみました。これらは私しか知らないハードソフトのノウハウ。繋げられない生きた情報。調査分析して自分の目で掴み取ってほしいノウハウ。出来る限り若いときに習得してほしいですね。女性の方がデータ取り分析は向いているのかもしれません。今後の活躍を期待します。

聞き手 朝倉芳則

- 得意な科目…美術
- 苦手な科目…数学



- 名前…Hさん
- 趣味…音楽を聞くこと 特にバンド系
- 特技…サッカーをすること
- 好きな食べ物…オムライス
- 得意な教科…体育
- 苦手な教科…数学、社会、美術、など

聞き手 伊藤さつき

交通安全運転研修

交通教育センターインボーリンガムにて新入社員研修を5月と7月に合計4日間行いました。

事故再発防止研修を6月に1日間行いました。

新入社員研修は5月は基礎的な運転技術、7月は実技を中心に行いました。2回行うのは初めてのこと。



理由は1回目で予定より基礎に時間を割いたためです。結果として追加研修を行うことになりました。担当教官の話では年々普段から運転する方が減っている傾向があります。大きなトラックなどの操作やMT車の操作を学ぶことだけではなく基礎技術からじっくり学べるように来年以降も研修内容の見直しをしています。



再発防止研修では昨年1年間の事故の基準回数を超えた6名の方に参加いただきました。座学では事故の会社への影響など、また実技ではわき見運転の体験、車庫入れ等を行いました。事前に事故報告を見ていただき、それらを組み込んだプログラムでした。

研修を通して安全への意識を高め事故防止につながればと思います。今後も安全教育を進めていきます。

伊藤さつき

くすのき実習スタート

7月17日から豊橋市立くすのき特別支援学校の実習生受け入れが始まりました。2016年からスタート、毎年受け入れをしております。通算で今年で5年目に入りました。学校は2015年に設立し小学校部から高等部まであります。高等部産業科の2名が今回2日にわたって職業体験を行います。今回は新型コロナウイルスによる休校の影響で3回ではなく2回の実習になりました。7月は総務部、9月は研究農場・ナーセリーで実習をします。この記事と、交通安全研修の記事は総務部での実習で入力していただきました。今後も皆様のご協力をお願いいたします。

それでは、2人に自己紹介をしていただきます。



- 名前…Sさん
- 趣味…嵐、ストーンズ、ボイメン、ボイメン
研究生のYouTubeチャンネルを見ること、聴くこと
- 特技…難しい折り紙を折ること
- 好きな食べ物…ギョーザ、ローストビーフ、ハンバーグ、高野豆腐のから揚げなど

第54期上期勉強会

今回の上期勉強会開催はギリギリまで危ぶまれました。公開HPでのお知らせも今回は7月3日（金）に臨時休業日



掲載としました。例年ですと6月1日に掲載します。今回は一旦削除し改めて掲載、臨時休業日のお知らせとしました。



例年の形とは違って仕組み「Zoom」を使って行われました。最近では一般的な企業や当社でも通常の業務でZoom活用が一般的になりつつある昨今です。

7月25日発行

今回は会社全体でこのようなZoomを使っての勉強会は初めてとなりました。コロナ禍がどのように社会に変革を起こすかどうか分かりませんがプラスもマイナスも含めた動きが求められると考えます。

HP窓口編集 朝倉芳則

~~~~~

## chief executive officer



ある社長の人生哲学考査です。、一言で言い表せない。全開・全速、国内だけでなく海外へも当然当たり前のように事業展開している社長である。お客様ありき、国や国籍は関係ないのである。通訳を付けづに片言英語で交渉する。伝える力がすごい



のである。相手が参った。納得なのである。それはオーラさえ感じるものがある。そのような生き方を感じます。当社にはいないコロナウイルスよりも強い存在感。仕事もプライベートも同時にを行うオンライン・オフタイム同時に行う。まさにバイクの前輪・後輪のような関係である。バイクは両手両足全体を使って操作する。ブレーキはメインの前輪とサブの後輪でブレーキバランスを取る。オンオフ同時で行う操作。そんな存在感のあるシニアでもある。写真は愛車のドイツ製のバイクと旅先での写真である。旅先は55年前10代の多感の頃に初めて本州最南端の潮岬である。当時バイクで1周4泊5日かかったそうだ。当時の道路事情が極めて悪く一級国道といえども酷道であったようである。現在は改善され8割は高速化された。

この社長の生き方、時代背景も酷道ライフ。全身全霊全開全速で人生の酷道を走り抜けてきた感じを受けます。そんななかでバイクも車も乗せてもらっている人が多い中で完全にリードして車が悲鳴を上げるぐらいコーナーなど攻める。こんな運転テクがあるのかと以前思いました。これは自分のドラテクにも参考とさせてもらっています。このCEOは車やバイクを体で熟知しているシニアであると感じます。

~~~~~

外来種

外来種被害は日本だけの問題ではなさそうですね。アメリカでは日本からやってきたオオスズメバチの問題があるようです。これはミツバチの生息に影響する問題。最近身近な豊橋市内での外来種被害について聞く機会がありました。それは以前から言われているハクビシンで

はなくヌートリア？あの巨大ネズミ？

被害は畑や水田など直接の被害です。

大きな穴を開けられられたり作物を食べられたりして大変でなんともならないとのことでした。切実でした！

最近は罠を仕掛けてもらっても捕獲できない。

奴らも生きるために権利で真剣です。生きるため頭も使つ



ているようです。

写真はヌートリア、ハクビシン用の罠（許可制）です。

豊橋にハクビシンが住みつくようになったのは知っていますが「ヌートリア」までもなんですね。またジャンボタニシまでも。

昔新城市あたりのブドウやイチゴ栽培農家さんでハクビシンの被害を聞きました。

このような外来種の増加で被害は止まらないようです。

ヌートリアは、外来生物法により「特定外来生物」として指定されています。

ヌートリア

15年ほど前、岐阜県を担当をしていた人に聞いてみるとヌートリアがどこから来たのかを追跡をしたことがあるようですがたどっても分からなかったようです。

インターネット検索では

第2次大戦中の軍服の毛皮用、食用として導入されたものとありました。敗戦と同時に野外に捨てられて野生化したものようです。すごく昔でビックリです。

南米原産の哺乳類で、ネズミの仲間で見た目はビーバーのようです。

茶褐色で尾が長い、大きな前歯。まさにビーバーです。

成長すると50～70cm、尾の長さは30～50cm、体重6～9kg程度になります。

相当大きいです。勘弁してほしい大きさです。

トヨタネも外来種被害の策を講じる知恵はないものですかね。電柵ではなく効率よく捕獲。ICタグをつけて頭数把握、GPSで管理、ドローン活用などなど。

~~~~~

## 編集後記

トップ画像は東京お台場です。

本来ならば東京オリンピック開催で賑やかさがあったであろう風景が想像されます。

また同時にGPEC開催も昨年8月に開業されたAichiSkyExpo（愛知県国際展示場）で本来ならばこの7月に開催される予定でしたがコロナ禍の関係で来年の7月となりました。その分来年に向けて良い準備ができれば良いですね。

ちなみにこの写真は東京ビッグサイトで展示会開催の翌日早朝5時ころ撮影。ウォーキングを兼ねてです。社内で使うための画像材料の蓄積としてです。

編集 朝倉芳則

7月25日発行